

滋賀県立総合病院広報誌

FACE

第12号

2023.2

がん患者さんに
寄りそう
診療をめざして





放射線治療操作室で治療機器を操作中

‘がん’と向き合う患者さんと家族が求めている医療は一樣ではない 多職種チームでニーズに応じた寄りそう診療を提供する



高精度放射線治療装置で治療中



放射線治療センターの豊富なスタッフ

自己紹介

三重県の山深い伊賀市で生まれ育ちました。1993年に三重大学医学部を卒業し、京都大学病院放射線治療科に入局しました。放射線治療科を選んだ理由は、大学時代に当時京都大学病院放射線治療科教授であられました阿部光幸教授の講義に感銘を受けたからでした。その後1994年から5年間、滋賀県立成人病センターで主に放射線診断とIVRの研鑽を積み、京都大学大学院と京都大学病院勤務を経て、2009年に当院放射線治療科に再び赴任致しました。

[経歴]

山内 智香子 (やまうち ちかこ)

- 1993年 三重大学医学部卒業
- 1993年 京都大学病院放射線・核医学科 研修医
- 1994年 滋賀県立成人病センター放射線科 医員
- 1999年 京都大学大学院 放射線医学講座
- 2005年 京都大学医学部附属病院放射線治療科 医員
- 2006年 京都大学医学部附属病院放射線治療科 助教
- 2009年 滋賀県立成人病センター(現滋賀県立総合病院)放射線治療科長
- 2012年 同 兼放射線治療品質管理室長
- 2013年 同 兼放射線治療部長
- 2022年 同 兼がん相談支援センター長